

モロッコ政治月報(4月)

2014年5月21日
在モロッコ大使館

4月のモロッコの動きを、当地報道を中心にとりまとめたところ、以下のとおりです。要人往来については末尾に一覧表を付しました。

なお、当政治月報は当月中にメディアで多く取り上げられた話題をその都度記録したもので、これらニュースについての当館及び日本政府の立場を何ら反映するものではありません。

【主な出来事】

- ◎国連西サハラ住民投票監視団(MINURSO)の任期を延長する国連安保理決議が採択。
- ◎ケリー米 국무長官がモロッコを訪問。
- ◎国会春会期が開会。

<内政・政局>

1 国会春会期の開会及び新衆議院議長の選出

- (1) 11日、国会春会期が開会した。
- (2) 新衆議院議長の選挙が行われ、独立国民連合(RNI)のアラム候補が、ゲラブ前議長を破り、新たに衆議院議長に選出された

2 補欠選挙における与党の敗北

- (1) 24日、Moulay Yacoub 及び Sidi Ifni の両選挙区で行われた補欠選挙において、与党第一党の公正と発展党(PJD)は議席を失った。
- (2) それぞれの選挙区で議席を獲得したのはイスティクラル党(PI)、真性と現代党(PAM)。
- (3) 当地インターネット紙 H24info は、今回の選挙は PJD への支持率を測るものであり、結果は PJD にとって望ましいものではなかった、と述べている。

3 テロリストグループの解体

- (1) MAP 通信が引用する国家安全総局 (DGSN) の12日付コミュニケによると、国家司法警察 (BNPJ) は国土監視総局 (DGST) との緊密な連携のもと、アル・カイダ系テロリスト組織と共同でシリアに戦闘員を送り込んでいたテロリストグループを解体した。

(2)今回解体されたテロリストグループを支援していたアル・カイダ系テロ組織は、「シャム・アル・イスラム運動(mouvement Cham al-Islam)」、「ジャブハト・アンヌスラ(Jabhat Annousra)」、「イラクとシャムのアッダウラ・アルーイスラミヤ(Addawla al-islamiya en Irak et Cham)」。

<外交・国際関係>

4 ケリー米国務長官のモロッコ訪問

- (1)3-4日, ケリー米国務長官がモロッコを訪問。
- (2)メズアール外務・協力大臣と第2回モロッコ・米国戦略対話の共同議長を務めた他, モハメッド6世国王に謁見, ベンキラン首相等と会談を行った。
- (3)ケリー国務長官はその後アルジェリアを訪問。

5 第4回 EU・アフリカサミット開催

- (1)2-3日, ブリュッセルにて, 第4回 EU・アフリカサミットが開催された。
- (2)モロッコからはメズアール外務・協力大臣が出席。

6 在ラバト欧州評議会代表部の開設への合意

1日, モロッコと欧州評議会は, 在ラバトの欧州評議会代表部の開設に関する合意文書に署名した。

7 国連人権理事会決議

- (1)モロッコは, 第25回国連人権理事会において3月21日採択された, 思想・宗教・良心の自由に関する決議(A/HRC/25.L.19)にいかなる留保も付さないことを決定した。
- (2)同決議は, 宗教選択の自由(宗教を信じない自由も含む)や信仰告白の自由, 改宗の自由等を強調している。

8 中米統合機構へのオブザーバー参加

- (1)23日, モロッコは, 中米統合機構(SICA)へのオブザーバー参加が認められた。
- (2)SICA とモロッコは, 1990年に南南協力の促進に向けた協力協定に署名して以降, 協力関係を築いてきている。
- (3)また, モロッコはこれまでに, 米州機構(OAS), カリブ諸国連合等にオブザーバー参加してきている。

9 ジハーディストのシリアからの帰還

(1) スペイン筋によれば、ここ数ヶ月で120人以上のモロッコ人ジハーディストがシリアから帰還しようとして逮捕されている模様。

(2) そのうちの一部は既に有罪判決を受け、刑務所に収監されている。これら収監者はいずれもカサブランカのモハメッド5世空港への到着時に逮捕された。

(3) 正確な数は不明であるが、シリアで反体制派として戦闘に参加するモロッコ人は1000人以上に上ると推計されている。

10 モロッコ・フランス関係

(1) 24日、第7回国際農業祭に出席するためにモロッコを訪問中のル・フォルム農業大臣兼報道官は、モロッコ政府との緊張関係を「乗り越える」仏の「意思」を再度確認した。

(2) なお、2月末にモロッコ側が仏との司法協力の停止を決定して以降、司法共助の依頼、囚人の移送、犯罪人引き渡し、さらには離婚、結婚及び子供の保護に関するあらゆる両国間の手続きが停止している模様。

<国際会議等の開催>

11 第5回 GCTF 調整会合の開催

(1) 1-2日、ラバトにて、第5回グローバルテロ対策フォーラム(GCTF)調整会合が開催された。

(2) 日本からは、國方外務省テロ対策・組織犯罪対策協力大使が出席。

<西サハラ問題>

12 MINURSO のマンデート延長

(1) 国連安保理は29日、30日に任期が切れる国連西サハラ住民投票監視団(MINURSO)の任期延長等に関する決議を、満場一致で採択した。同決議によりMINURSOの任期は一年間延長された。MINURSOのマンデートには、新たに15人の軍事オブザーバーが加えられた他は、変化はない。

(2) 人権監視のメカニズムは導入されなかったものの、同決議では西サハラにおける人権状況の改善を求めている。同決議は「関係諸機関に対し、人権への完全な配慮を確保するための信頼に足る中立的な施策の構築及び導入を奨励」するに留めている。一方で同決議は、人権保護のためにモロッコによって昨今行われている施策とイニシアティブを賞賛した。

<モロッコ要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
4月1日	ベルギー	ブーアイダ外務・協力大	第4回 EU・アフリカ

		臣付特命大臣	サミット閣僚級準備 会合出席
4月2-3日	ベルギー	メズアール外務・協力大 臣	第4回 EU・アフリカ サミット出席
4月7日	英国	ブーアイダ外務・協力大 臣付特命大臣	ロバートソン中東・北 アフリカ担当国務大 臣と会談
4月9日	エジプト	メズアール外務・協力大 臣	アラブ連盟閣僚級会 合出席 アッバス PA 大統領 等と会談
4月15-17日	仏, 露, 中	ブーリタ外務・協力省次官	各国カウンターパート らと会談

<外国要人のモロッコ訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
4月3-4日	米国	ケリー国務長官	第2回モロッコ・米戦 略対話共同開催, モ ハメッド6世国王謁見
4月9日	チュニジア	マンサール大統領府官房 長(大統領特使として)	モハメッド6世国王謁 見
4月9日	クロアチア	コトロマノヴィッチ防衛大 臣	ルディ首相付国防管 理担当特命大臣と会 談
4月10日	サウジアラビア	アブドゥラジズ・アル・サウ ド王子	モハメッド6世国王謁 見
4月11日	チャド	ファキ外務・アフリカ統合 大臣	モロッコ-チャド・ハ イレベル合同委員会 開催
4月17日	コートジボワール	バカヨコ国務大臣兼 内務・治安大臣	ハッサド内務大臣, ド ライス内務大臣付特 命大臣
4月22日	ギニア	コンデ大統領	第7回国際農業祭出 席
4月22日	マリ	ケイタ大統領	第7回国際農業祭出

			席
4月22日	赤道ギニア	ングエマ大統領	第7回国際農業祭出席
4月24日	フランス	ル・フォル農業大臣兼報道官	第7回国際農業祭出席

(了)